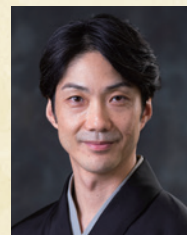


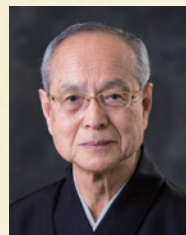
野村万作・萬斎

狂言の会

時代を超えて息づく美学。洗練された笑いが織りなす心豊かな和楽の世界。



野村萬斎



野村万作

令和7年
3月14日(金)

開演：午後2時00分
(午後1時30分開場)

『柑子』



入間川

解説 中村 修一

大名 深田 博治

太郎冠者

入間の何某

高野 和憲

幸雄

柑子 太郎冠者 野村 万作

主 後見

飯田 石田

中村 内藤

修一連

豪

六地蔵

すっぱ 野村 萬斎

田舎者

中野村

修裕基

月崎

後見

晴聰

夫史

豪

一

『六地蔵』



『入間川』



■会場：扶桑文化会館 ■主催：扶桑町・扶桑町教育委員会

■入場料【全席指定】：一般／S席4,500円 A席4,000円

扶桑文化会館友の会会員／S席4,200円 A席3,700円

※友の会会員価格の取扱は、扶桑文化会館の窓口・電話受付のみで、会員証1枚につき1枚までとなります。

※車イスでご来館の方は、チケットをお求めの際にお申し出ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

■チケット取扱開始

○扶桑文化会館／『扶桑文化会館友の会会員』11月30日(土)

《一般》12月7日(土)

※電話予約も承ります。但し、取扱枚数に制限があります。

○チケットぴあ／12月7日(土) 午前10時より：Pコード(530-341)

※チケットぴあで予約したチケットの引き取り・直接購入窓口は、チケットぴあ、セブンイレブン、お近くの中日新聞販売店(一部店舗を除く)となります。

◎チケットのお求め・お問い合わせは

扶桑文化会館 TEL.0587-93-9000 <月曜日(祝日は除く)・火曜日休館>

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字福塚200

<https://www.town.fuso.lg.jp/fusobunka/index.html>

☆「扶桑文化会館 友の会」会員を募集中です。チケットの先行発売、会員割引価格等、様々な特典がございます。



FUSO THEATER
扶桑文化会館

扶桑文化会館 検索

扶桑文化会館
公演情報



〈交通〉名鉄大山線「扶桑駅」下車、西へ徒歩約10分
●公共交通機関のご利用に、ご協力をお願いします。

『入間川』 いるまがわ

長らく都にきていた遠国の大名が、太郎冠者を連れて本国へ帰る途中、入間川に行き当たる。そこで出会った入間に住む男が「そこは深い」と止めるのも聞かず、川を歩いて渡ろうとした大名は、深みにはまってしまう。昔から入間では「入間(いるま)様(よう)」と言って逆さ言葉を使うはずだと怒った大名は、男を成敗しようとするが…。

逆さ言葉によるセリフのやりとりが面白い作品です。入間川は現在も埼玉県南西部を流れる川。狂言には珍しく、関東を舞台にしています。

『柑子』 こうじ

太郎冠者は、昨晩主人から預けられた土産物の珍しい三つ成りの柑子(みかんの一種)を持ってくるよう催促されるが、実はすでに三つとも食べてしまっていた。一つ一つ言い訳をするうちだんだん調子に乗ってきた太郎冠者は、ついに鬼界ヶ島に取り残された俊寛の話まで引き合いに出し…。

小品ながら、柑子を食べるリアルな表現、平家物語をひいた語りなど見どころの多い佳作です。太郎冠者の凝った言い訳をお楽しみ下さい。

『六地藏』 ろくじざう

田舎者が地藏堂に六体の地藏を安置しようとして都に仏師を探しに行く。すると徒者(いたずらもの)のすっぱ(詐欺師)が声をかけてきて、自分こそが真の仏師であると偽り、翌日までに六地藏をつくる約束をして田舎者と別れる。すっぱは仲間を呼び出し、地藏に化けて田舎者をだますことにする。さて翌日、田舎者が地藏を受け取りにやってくる。と、地藏は三休しか見あたらない。もう三休はどこに問うと…。

演者が所狭しと舞台を駆け回る賑やかな作品です。すっぱは田舎者をだまし通せるのでしょうか。本舞台と橋掛りを上手く使った、狂言ならではの表現もお楽しみ下さい。

プロフィール

野村 万作 (のむら まんさく)



1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝・文化功労者)。祖父・故初世野村万蔵及父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える。品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大ウシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞等多数の受賞歴を持つ。「月に憑かれたピエロ」「子午線の祀り」「秋江」「法螺待」「敦山月記・名人伝」等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。近年では「樗山節考」の再演に取り組み、大きな成果をあげている。『狂言を生きる』(朝日出版社)を刊行。

野村 萬斎 (のむら まんさい)



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言」ごころ乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画テレビドラマの主演、舞台「敦」山月記・名人伝」「子午線の祀り」「能狂言」鬼滅の刃」「ハムレット」など古典の技法を駆使した作品の演出で幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通して狂言の在り方を問うている。芸術祭新人賞、優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞、千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、2024年5月坪内逍遙大賞等を受賞。石川県立音楽堂アーティスティック・クリエイティブ・ディレクター。東京藝術大学客員教授。

石田 幸雄 (いしだ ゆきお)

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重鎮。大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加。普及に貢献している。主宰していた「雙ノ会」で芸術祭大賞、個人で観世寿夫記念法政大学能楽受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより「国盗人」など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。

深田 博治 (ふかた ひろはる)

1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作一門の研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「花子」等を披き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を務め、狂言の普及に力を注いでいる。出身地・大分で「狂言やつとな会」を主宰している。

高野 和憲 (たかの かずのり)

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「花子」等を披き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター・新国立劇場演劇研究所をはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を務め、狂言の普及に力を注いでいる。

岡 聡史 (おか さとし)

1980年生。野村万作に師事。能楽協会会員。文化学院卒業後、狂言の道を志し修業を続け、これまでに「奈須与市語」を披く。全国各地での狂言ワークショップで講師を務め、狂言の普及に力を注いでいる。

月崎 晴夫 (つきざき はるお)

1964年生。野村万作に師事。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言ざん座」同人。「奈須与市語」「三番叟」を披き、「万作の

会」の演者の一人として国内外の公演で活躍している。また、朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地のワークショップで講師を務めるなど、狂言の普及に力を注いでいる。

中村 修一 (なかむら しゅういち)

1989年生。野村万作に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。9歳で入門後、幼少より舞台上に立ち、「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を披く。全国各地の狂言ワークショップで講師を務めるほか、早稲田大学、東京女子大学、共立女子大学の狂言サークル及び松尾塾伝統芸能、庄内能楽館で指導している。

内藤 連 (ないとう れん)

1986年生。野村万作に師事。成城大学経済学部卒業。国立能楽堂・能楽三役第八期研修修了。能楽協会会員。これまでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」を披く。全国各地の狂言ワークショップで講師を務めるほか、東京大学、お茶の水女子大学、成城大学の狂言サークル及び松尾塾伝統芸能を指導している。

飯田 豪 (いいた たく)

1989年生。野村万作に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。すでに「奈須与市語」「三番叟」を披く。朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地での狂言ワークショップで講師を務め、狂言の普及に力を注いでいる。

野村 裕基 (のむら ゆうき)

1999年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。能楽協会会員。3歳の時に「観猿」で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、「三番叟」「奈須与市語」を披き、「万作の会」の若手狂言師の一人として舞台を勤めている。

石田 淡朗 (いしだ たんろう)

1987年生。石田幸雄の長男。野村萬斎に師事。能楽協会会員。3歳で初舞台後、狂言・能の舞台で子方を勤める。英国ギルドホール音楽演劇学校卒業。2022年「三番叟」を披く。



大藪建設株式会社

〒480-0104 愛知県丹羽郡扶桑町大字斎藤字東屋敷6番地
TEL 0587-93-2631 / FAX 0587-93-5273
http://www oyabukensetsu.com E-mail: info@oyabukensetsu.com



株式会社 扶桑グリーン社

愛知県知事登録第87号

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字堂子353番地
TEL 0587-93-2365 FAX 0587-92-1684

アイシン電気

50-8787

からだ元気治療院

50-5400



防犯・防災も



CCNet株式会社 春日井局 ☎ 0120-441061

